

BMW国際指揮コンクールで日本人として初めて優勝した 木許裕介さんが指揮 「ベガ ジュニア アンサンブル 12thコンサート」

(公財)宝塚市文化財団では、3月24日(日)に宝塚ベガ・ホールにおいて、「ベガ ジュニア アンサンブル 12thコンサート」を開催します。同コンサートは、ベガ・ホールで活動する「ベガ ジュニア アンサンブル(小学4年生～20歳までを対象とした弦楽アンサンブル)」の定期演奏会です。「10代の子ども達が頑張って演奏する姿が印象的だった」など、アンケートでも毎回好評をいただいています。

2014年からベガ ジュニア アンサンブルと共演し、現在常任指揮者として定期演奏会の指揮・指導を行っているのは、木許裕介さん。木許さんは東京大学および同大学院在学中より、勉学に励む傍ら、指揮者として精力的に活動を行っており、大学院修了後は、福井大学フィルハーモニー管弦楽団等の学生オーケストラの指揮・指導や、野外オペラの制作に関わる等、活動の幅を広げています。2018年4月には、ポルトガル北部エシユポゼンデで開催されたBMW国際指揮コンクールでコンクールに初挑戦し、日本人として初めて優勝しました。



ベガ ジュニア アンサンブルと木許氏

12thコンサートでは、「太陽がいっぱい」や「道」など名作映画のテーマ曲や、バルトークのルーマニア民族舞曲を演奏予定です。ゲストには、国際バッハコンクールのオルガン部門で優勝したオルガニスト・富田一樹氏を迎え、ハイドンのオルガン協奏曲やアルビノーニのアダージョを演奏します。2人の若き才能の協演、パイプオルガンと弦楽アンサンブルの共演をお楽しみください。

貴媒体におかれましても、この公演を取り上げていただければ幸いです。

- 1 日時 平成31年(2019年)3月24日(日)14:00開演(13:30開場)
- 2 会場 宝塚ベガ・ホール(宝塚市清荒神1-2-18 阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ)
- 3 出演 指揮:木許 裕介、ゲスト:富田 一樹(パイプオルガン)、ベガ ジュニア アンサンブル
司会:坂田 百合子(元宝塚市観光大使サファイア)
- 4 入場料 前売500円(当日700円)【全席自由】
- 5 曲目 N.ロータ:映画「道」よりジェルソミーナのテーマ
B.バルトーク:ルーマニア民族舞曲、
J.ハイドン:オルガン協奏曲ニ長調 Hob.XVIII:2
アルビノーニのアダージョ(ジャズット編) ほか(曲目は変更になる場合があります)
- 6 主催 (公財)宝塚市文化財団
- 7 お問い合わせ先 宝塚ベガ・ホール(水曜休館) TEL:0797-84-6192 担当:四方、林
URL:<https://takarazuka-c.jp/>

出演者プロフィール

ベガ ジュニア アンサンブル(VJE)

2007年5月、地域の子どもたち、青少年に、音楽活動を通して演奏する楽しさや、合奏による協調性、音楽を完成させたときの達成感を知ってもらうとともに、人と人との触れ合いや、演奏による地域社会への参加などを経験して欲しいと願い、(財)宝塚市文化振興財団(現・(公財)宝塚市文化財団)が設立。年1回の定期演奏会のほか、出張演奏なども行っている。2018年には、大分市で行われた「おおいだ夢色音楽祭」に宝塚市から派遣され、演奏を行った。2019年1月現在、中学生から高校生までの10名が在籍。指導は石川誠子氏、中田潔子氏。

常任指揮者 木許 裕介(きもと ゆうすけ)

指揮者、日本ヴィラ＝ロボス協会会長。

オフィシャルサイト Nuit Blanche (<http://y-kimoto.com/>)

指揮を故・村方千之氏に師事。2018年ポルトガルで開催された BMW 国際指揮コンクール(The BMW IV International Conducting Masterclass and Competition)にて第1位優勝。同コンクールでの日本人の優勝は初となる。同2018年、出身の大阪府高槻市より特別功労賞を受賞。

20代では東南アジアでの演奏活動に尽力し、Worldship Orchestra 正指揮者としてフィリピンとカンボジアで30公演以上を指揮。フィリピンではマニラ交響楽団とのジョイントコンサートを3度にわたり指揮。カンボジアにおいてはシララット・シソワット王子御臨席のもとで指揮し、また、プノンペン国際音楽祭の最終公演に招かれてモーツァルトのピアノ協奏曲第17番とベートーヴェンの交響曲第5番を指揮。これらの功績から FACP(アジア文化芸術交流促進連盟)日本初の個人会員に抜擢される。国内においては福井大学フィルハーモニー管弦楽団、九州大学芸術工学部フィルハーモニー管弦楽団、神奈川セリエスオーケストラなど日本各地の大学オーケストラで指揮者を務めるほか、宝塚のベガジュニアアンサンブル初の常任指揮者として、2014年以降現在まで全ての定期演奏会を指揮している。一方で、ブラジルの作曲家ヴィラ＝ロボスのエキスパートとして知られ、日本ヴィラ＝ロボス協会会長を務める。東京文化会館で企画・指揮したヴィラ＝ロボスコンサートはアンドレ・コヘアー・ド・ラーゴ前駐日ブラジル大使より絶讃を得た。演奏のみならずヴィラ＝ロボスについての研究論文や曲目解説なども多数執筆し、2018年より駐日ブラジル大使館にて継続的にヴィラ＝ロボスゼミナールを企画・開催している。

また、2016年よりイタリアで研鑽を積み、ボローニャフィルハーモニー管弦楽団2017,18,19年度ニューイヤーコンサート、日伊国際共同制作野外オペラ「道化師」(姫路城)「トゥーランドット」(平城宮)などに携わる。慶應義塾大学SFC 研究所上席所員、東京大学教養学部「学藝饗宴」ゼミナール芸術監督、一般財団法人欧州日本芸術財団プリンシパル・ディレクター、三菱マーケティング研究会講師、代官山未来音楽塾副塾頭を務めるなど、大学や企業での文化芸術事業や講演・講義においても独自の活動を展開。大学時代にはジャーナリスト・立花隆氏の助手を務め、共著書に『二十歳の君へ』(文藝春秋社)など。兵庫県私立雲雀丘学園小学校卒、灘中学校・高等学校を経て、東京大学地域文化研究学科フランス分科および東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻修了。修士(学術)。



ゲスト 富田 一樹(とみた かずき)

大阪音楽大学オルガン専攻を、最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。オルガンを土橋薫、ピアノを大竹道哉の各氏に師事。ドイツ・リュベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト(聖ヤコビ教会オルガニスト)、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。2016年7月、ドイツ・ライプツィヒ第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。「摂津市教育文化功労賞」(2016年8月)、平成29年度「咲くやこの花賞(音楽部門)」(2017年12月)、「音楽クリティック賞(奨励賞)」(2018年1月)を受賞。NHK・FM ラジオ「リサイタル・ノヴァ」(2016年11月)、MBS ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。

バロック音楽を得意とし、国内外で数多くの演奏会に出演。音楽系 YouTuber としてパイプオルガンを紹介する活動も行う。(一社)日本オルガニスト協会会員。

ホームページ:<http://kazukitomitaorg213.wixsite.com/home>

